能登畜産センターの役割

受精卵の生産

能登畜産センター

現在、当センターでは黒毛和種の受精卵を年間約500個生産･供給しています。
あわせて、育種価成績による黒毛和種繁殖雌牛の改良指導も行っています。

優良繁殖雌牛（供卵牛）＊ → 過剰排卵処理

2日後 →

優良種雄牛の交配 → 人工授精

7～8日後 →

受精卵の選別 → 採　卵

→

移植可能な受精卵の長期保存 → 凍結保存

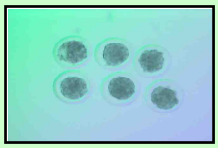
通常、1回の発情で1個排卵するところを、ホルモン注射により多数の排卵を促します。

県指定推奨牛などから供卵牛に合った種雄牛を選び出し、優秀な能登牛の生産を目指します。

供卵牛から採取した受精卵を検卵しランクの低いもの、未受精のものは廃棄します。

液体窒素中（-196℃）で半永久的な保存が可能となります。

＊　供卵牛について･･･
供卵牛は受精卵を提供している牛です。
現在、供卵牛として黒毛和種が約80頭飼養されています。
血統･体型的に優れ、産肉成績の良い牛が供卵牛として選ばれます



受精卵の供給

県畜産協会

受精卵の移植

公共育成牧場 / 家畜保健衛生所 / 酪農家 / 個人移植師 / NOSAI石川

酪農家

移植･受胎

妊娠期間 285日

受精卵産子誕生

移植を受ける牛（受卵牛）の多くは妊娠経験の無い未経産牛です。

乳牛を借腹として純粋な和牛子牛が生まれます。

受精卵移植のメリット

･ホルスタイン種の子牛に比べて小さいので出産の負担を軽減できます。 → 難産防止

･ホルスタイン種の子牛に比べ、高値で取引することができます。 → 収入増加

繁殖農家

約1年で繁殖用に供します

子牛誕生

雌牛は後継牛として残し、雄牛は肥育用に譲渡します。

哺育･育成農家

北陸三県和牛子牛市場

肥育農家

生まれてから食用に供するまで、約2年半かかります。

搬入された牛は検査後、と殺します。
格付けにより肉質･肉色の優れたものが銘柄牛「能登牛」となり、枝肉や部分肉として流通されます。

石川県金沢食肉流通センター

加工･小売業者で部分肉や精肉になって店頭に並びます。

食肉加工･小売業者

おいしい能登牛が家庭の食卓へ････

消費者（食卓）